

第2回定例研究会

「能における《素》—直面（ヒタメン）をめぐる—」

第2回定例研究会は、京都造形芸術大学舞台芸術センター所長、大阪大学名誉教授の天野文雄氏をお招きし、能における《素》—直面（ヒタメン）をめぐる—というテーマで講演いただきました。

講師

天野文雄氏（京都造形芸術大学舞台芸術センター所長、大阪大学名誉教授）

指定討論者

中川 桂 氏（二松学舎大学准教授）

寺島修一氏（武庫川女子大学文学部日本語日本文学科教授）

コーディネーター

管 宗次（武庫川女子大学文学部日本語日本文学科教授・生活美学研究所研究員）

テーマ

能における《素》—直面（ヒタメン）をめぐる—

講演日

※申し込み不要

2015年7月18日（土）14:00～17:00 受付開始 13:30

場所

武庫川女子大学 学術研究交流館（IR）1階 101

※駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください

問い合わせ先

武庫川女子大学生活美学研究所

TEL：0798-67-1291

NEWS LETTER vol.108

生活美学研究所では、毎年年間統一テーマを定め、そのテーマに沿った研究会を開催しております。H27年度の年間統一テーマは「素（そ）」です。

第2回定例研究会（通算151回）

2015/7/18(土) 14:00～17:00

素
MIE

能における《素》

写真：大塚能楽堂提供

一説に、能の
人物はすべて素
を付けていると
思われているよ
うな印象があり
ますが、そのま
まではありません。
能で素をつけ
るのは、
2014年（第108回）
だけではありません。
4年（第104回）
は素
などは素をつけ
ませんが、シテ
やツレも素を
つけたり外巻も
素なりのあり
ます。
このように、
素を用いないと
いってよいと、
そのような素を
素の能といひ
ますが、この期
間では、この素
面をめぐる一
その歴史、演技
などについて考
えてみたいと思
います。

【講師プロフィール】

京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長。大阪大学名誉教授。

昭和21年、東京生まれ。早稲田大学第一法学部卒業後、国学院大学大学院文学研究科修了。

大阪大学教授、国際高等研究所副所長、文化庁関西分室長を経て、現職。専門は能楽研究。

著書に、『翁猿楽研究』（平成7年、和泉書院）、『能に憑かれた権力者』（平成9年、講談社）、

『現代能楽講義』（平成16年、大阪大学出版会）、『世阿弥がいた場所』（平成19年、ペリカン社）、

『能苑逍遥〔上中下〕』（平成21年、22年、大阪大学出版会）、

編著に『能を読む』全4巻（平成25年、角川学芸出版）がある。

平成元年以降、大槻文蔵、福王茂十郎、梅若玄祥氏などと、

廃絶曲の復活、現行曲の見直しに多数参画。



天野文雄先生

当日の様子